

# リニア中央新幹線建設促進に関する奈良県の取組

## 【最近の取組】

2037年の全線開業に向けたリニア中央新幹線の整備促進と「奈良市附近駅」の早期確定に向けて、**全面的に協力・推進**しています。

令和6年7月	リニア中央新幹線三重・奈良・大阪建設促進連携会議（以下、連携会議）の設置
	連携会議第1回会議 開催
	岸田総理が三重県視察、連携会議で支援する旨表明
9月	リニア奈良県期成同盟会総会 開催
	連携会議第2回会議 開催 （国、ＪＲ東海を正式メンバーに格上げ）
12月	リニア三重・奈良・大阪建設促進大会 開催
令和7年5月	リニア全国期成同盟会総会 開催 （終了後、中野国交大臣へ要望）
9月	リニア奈良県期成同盟会総会 開催



中野国交大臣への要望（R7.5月）



奈良県期成同盟会総会（R7.9月）

## 【ＪＲ東海への主な協力事項】

### ○ボーリング調査への協力

ＪＲ東海が県内で実施しているボーリング調査について、県有地の提供を行うなど、密接に連携しており、引き続き**新たな調査箇所**の**選定に向け公有地の情報提供を行う等、全面協力**しています。

### ○環境アセスを円滑に行うための情報提供

概略の駅位置・ルートや工法特定前に先行して文献調査等を行い、**下記項目について調査結果を提供**。

### 中央新幹線(東京・名古屋間)事業における 環境影響評価法の配慮書段階の住民意見

NO.	項目	意見数
1	概略ルート及び概略の駅位置	197
2	環境：大気環境	54
3	環境：水環境	59
4	環境：土壌環境	15
5	環境：磁界	16
6	環境：文化財	15
7	環境：日照阻害・電波障害	4
8	環境：動物・植物・生態系	74
9	環境：人と自然との触れ合い	24
10	環境：環境への負荷	35
11	環境：その他	10
12	手続き	126
13	その他	109
-	合計	738

### ＪＲ東海への情報提供項目

- 水環境の状況
- 文化財の所在地情報
- 動物・植物・生態系の状況
- 風致地区等の状況
- 発生土処理の課題（R7予定）

等

# リニア中央新幹線建設促進に関する奈良県の取組

本県の特長である埋蔵文化財について発掘調査を円滑に進めるため、ＪＲ東海及び文化財担当課とともに実際の現場を視察（昨年１１月）し、事業を進める上での課題や対策を議論しました。本県では、**体制強化等により、年間の発掘調査可能面積を従来の３倍増とする等**、県をあげてスピードアップの取組を行っています。

## ＜新たな取組＞（令和６年度より実施）

- 【１．体制強化】
- 【２．予算確保と運用の円滑化】
- 【３．調査環境・条件の整備】
- 【４．中期的な発掘調査量の公表】

## ＜効率化＞

（トレンチ調査）

○簡易発掘調査 → **期間を半減**

（５千㎡の調査を最長６か月から３か月に短縮）

○発掘調査 → **面積を３倍増**

（１年間で最大１万㎡を３万㎡に拡大）

発掘調査現場



簡易発掘（トレンチ）調査現場

